

士別市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

資料 1

会 長 士別市副市長 法邑 和浩

副会長

監査員

監査員

任 期 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

所属	役職	氏名	選出区分	新任
士別市中央地区自治会連絡協議会	会長	佐藤 良雄	住民又は利用者の代表	
士別市上士別地区自治会連絡協議会	会長	上家 栄二	〃	○
士別市多寄地区自治会連絡協議会	会長	佐々木 文男	〃	
士別市温根別地区自治会連絡協議会	会長	福岡 亮二	〃	○
士別市朝日地区自治会連絡協議会	会長	大岡 正喜	〃	
社会福祉法人士別市社会福祉協議会	事務局長	藤森 裕悦	〃	
士別商工会議所	事務局長	森 幸夫	〃	
士別市PTA連合会	広報委員長	石川 里紗	〃	○
北海道士別翔雲高等学校	教頭	鳥毛 浩二	〃	○
道北バス株式会社	営業部次長	岡田 倫和	一般乗合旅客自動車運送事業者	
士別軌道株式会社	取締役 経営管理部長	大内 紀幸	一般乗合旅客自動車運送事業者	○
上川北部ハイヤー協会士別支部	支部長	佐藤 元信	一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者	
北海道旅客鉄道株式会社士別駅	駅長	鈴木 洋輔	鉄道事業者	
私鉄総連北海道地方労働組合 士別軌道支部	執行委員長	伊藤 直寛	事業用自動車の運転者が組織する団体	
北海道運輸局旭川運輸支局	主席運輸企画 専門官	加茂 聖和	旭川運輸支局長が指名する者	
上川総合振興局地域創生部 地域政策課	主幹 (地域連携)	庄司 大介	上川総合振興局長が指名する者	
北海道開発局旭川開発建設部 士別道路事務所	所長	斯波 俊二	旭川開発建設部士別道路事務所長が指名する者	
上川総合振興局旭川建設管理部 士別出張所	所長	高橋 明裕	旭川建設管理部士別出張所長が指名する者	○
士別市役所	副市長	法邑 和浩	士別市長が指名する者	

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法の規定に基づき、設置されている。

## 令和 4 年度士別市地域公共交通活性化協議会 事業報告

## 1. さほっちタクシー事業

- 実施期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
- 内 容：観光施設への乗合タクシー事業として「道の駅～士別駅～士別 inn 翠月～羊と雲の丘」を結ぶ運行、及び区間内を 1 日中乗り放題として利用できる「1 日周遊パスポート」を実施した。
- 乗車実績

令和4年度

	乗車人数(人)		
	往路乗車数	復路乗車数	乗車数合計
4月	0	0	0
5月	5	7	12
6月	6	8	14
7月	9	10	19
8月	14	11	25
9月	5	10	15
10月	10	10	20
11月	4	4	8
12月	5	5	10
1月	3	3	6
2月	2	2	4
3月	4	3	7
合計	67	73	140
平均	5.6	6.1	11.7

令和3年度

	乗車人数(人)		
	往路乗車数	復路乗車数	乗車数合計
4月	0	0	0
5月	3	3	6
6月	6	6	12
7月	3	4	7
8月	5	5	10
9月	4	4	8
10月	4	4	8
11月	4	1	5
12月	3	3	6
1月	1	1	2
2月	1	1	2
3月	2	1	3
合計	36	33	69
平均	3.0	2.8	5.8

令和 3 年度と比較して、総数で 71 人の利用者が増加している。

## 2. 公共交通利用促進・意識醸成事業

## ①わくわくらくがきバス

- 実施期間：令和 4 年 10 月 15 日
- 内 容：士別軌道の中型バス運行車両にみんなでマジックで落書きを行った。落書きを行ったバスは、11 月は「市内わくわく買い物線」で、12 月以降は「朝日線」で運行を行った。
- 参加人数：110 人程度

## ②「市内わくわく買い物線」周知

- 市内バス運行路線の「わくわく買い物線」について、運行期間を 11 月から 4 月までの 6 カ月に延長したことに伴い、新聞広告等で周知を行った。

### 3. 次世代モビリティ推進会議

#### ①バス・タクシー共通利用チケット

- 次世代モビリティ推進連携確認にもとづき、土別軌道・土別ハイヤー双方で利用可能な「共通利用チケット」を販売した。

#### ●販売実績

土別軌道：250セット⇒完売(売上：250,000円)

土別ハイヤー：250セット⇒完売(売上：250,000円)

※プレミアム分：150,000円は協議会で負担した。

#### ●利用実績

路線バス（土別軌道）：122,100円　タクシー（土別ハイヤー）：503,700円

合計：625,800円

#### ②習い事応援タクシー実証実験

- 共働き世帯の増加による「習い事の送迎」にかかる負担軽減効果と住民ニーズ把握のため、利用者負担を一律100円に設定し、タクシーによる送迎事業を実施した。

- 利用者登録期間：令和4年9月20日～11月30日（予定を前倒して終了）

- 運行期間：令和4年11月1日～令和5年1月31日

- 利用実績：利用登録者数：67人　のべ運行回数：254回

のべ利用者数：506人　乗合人数：1.99人

#### ③タクシー呼び出しタブレット実証実験

- 令和4年3月から令和5年2月まで、市役所正面入口付近に呼び出し時に空車があれば簡単な操作でタクシーを呼び出すことができる「タクシーの即時呼出システム(施設版らくらくタクシー)」を設置した。

- のべ利用者数：53名

#### ④多寄地区バス路線の最適化

- 多寄地域のバス路線について、「中多寄線」と「中多寄スクール線」のそれぞれの地域課題から、令和5年4月から最適化をするため、「中多寄線」の減便及び「中多寄スクール線」の一部通年平日運行について協議会で承認した。

## 令和4年度 士別市地域公共交通活性化協議会 決算書

## ◎ 収入の部

(円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
市負担金	1,400,000	1,400,000	0	協議会運営費:100,000円 事業費:300,000円 次世代モビリティ推進会議:1,000,000円
繰越金	509,373	509,373	0	
雑収入	627	6	▲ 621	預金利息
合計	1,910,000	1,909,379	▲ 621	

## ◎ 支出の部

(円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
協議会運営費	100,345	39,214	▲ 61,131	
会議費	30,000	2,408	▲ 27,592	議案送付切手代
報酬	45,000	24,983	▲ 20,017	協議会委員報酬
費用弁償	10,000	7,325	▲ 2,675	協議会委員費用弁償
事務費	15,345	4,498	▲ 10,847	振込手数料 報酬源泉徴収税
網形成計画に基づく事業費	589,000	564,072	▲ 24,928	
さほっちタクシー事業	150,000	97,830	▲ 52,170	運行負担額
公共交通利用促進事業	439,000	466,242	27,242	らくがきバス事業費 タクシーステッカーコンテスト事業費
次世代モビリティ推進会議	1,220,655	1,233,185	12,530	習い事応援タクシー実証実験 バス・タクシー共通チケット実証実験
合計	1,910,000	1,836,471	▲ 73,529	

収入決算額:1,909,379円 - 支出決算額:1,836,471円 = 72,908円(次年度繰越)

## 監査報告書

士別市地域公共交通活性化協議会規約第9条第2項の規定により令和5年5月23日に協議会の令和4年度会計監査を行い、関係証拠書類等について照合した結果、その取扱いは適正であり出納並びに現金の保管についても適正であることを認める。

令和5年5月23日

士別市地域公共交通活性化協議会

監査員

森

幸

夫



藤

森

裕

悦



**令和5年度士別市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）****1. さほっちタクシー事業【継続】**

- 観光施設（道の駅・羊と雲の丘）への乗合タクシーによる運行を実施する。

**2. 公共交通利用促進・意識醸成事業【継続】**

- バスラッピングイラストコンテスト（士別ハイヤー）

スポーツに関連するイラストを子どもたちに描いてもらい、「合宿のまち士別」及び「公共交通」のPRとしてバス車両にイラストを貼り付け、運行を実施する。

- らくがきバスの実施（士別軌道）

路線バスにマジックで落書きをして運行を実施する。

- チラシ等の作成や市HPや市民アプリの有効活用などについて、検討・実施する。

**3. 利便性の高い公共交通機関の検討【継続】**

- 各路線について、より利便性の高い公共交通機関となるよう、引き続き議論する。

**4. 次世代モビリティ推進会議【継続】**

- 「士別市次世代モビリティビジョン」の推進に資する実証実験等を実施する。  
⇒今年度は「習い事応援タクシー」の令和6年度からの事業化に向け、利用者料金・運行期間等を具体化し、実証実験・制度構築を行う。

※各取り組みについては、事務局および交通事業者、次世代モビリティ推進会議で内容を精査させていただいた上で、ご報告させていただきます。

## ◎ 収入の部

(円)

項目	R5予算額	R4予算額	増減	備考
市負担金	910,000	1,400,000	▲ 490,000	協議会運営費: 60,000円 事業費: 350,000円 次世代モビリティ推進会議: 500,000円
繰越金	72,908	509,373	▲ 436,465	
雑収入	128,092	627	127,465	預金利息 バス・タクシー共通チケット売上分
合計	1,111,000	1,910,000	▲ 799,000	

## ◎ 支出の部

(円)

項目	R5予算額	R4予算額	増減	備考
協議会運営費	60,000	100,345	▲ 40,345	
会議費	0	30,000	▲ 30,000	事務費へ移行
報酬	35,000	45,000	▲ 10,000	協議会委員報酬
費用弁償	10,000	10,000	0	協議会委員費用弁償
事務費	15,000	15,345	▲ 345	振込手数料 報酬源泉徴収税 等
網形成計画に基づく事業費	551,000	589,000	▲ 38,000	
さほっちタクシー事業	150,000	150,000	0	運行負担額
公共交通利用促進事業	401,000	439,000	▲ 38,000	各種事業実施経費
次世代モビリティ推進会議	500,000	1,220,655	▲ 720,655	調査・研究費
合計	1,111,000	1,910,000	▲ 799,000	

# 習い事応援タクシー 令和5年度実証実験について

令和5年6月12日  
士別市地域公共交通活性化協議会 追加資料

## 1. 実証実験の目的

共働き世帯の増加による「習い事の送迎」にかかる負担軽減策としての効果を検証する。

## 2. 協議会予算

500,000円

※国土交通省「共創モデル実証プロジェクト」に応募予定（事業費の3分の2補助）

## 3. 利用者登録期間

令和5年6月20日から6月30日まで

その後は随時受付するが、登録状況により登録できない場合がある。

※利用者登録・運行予約・キャンセル連絡はLINEにて行う予定だが、システム導入についても検討中

## 4. 運行期間

令和5年7月15日から令和6年3月31日まで（予算の都合上、早期に終了する場合あり）

## 5. 利用料金

### ①1乗車当たりの利用

市街地：300円 朝日地区：2,000円 上士別・多寄・温根別地区：1,000円

### ②サブスクリプション（1ヶ月乗り放題 10回分の金額）

市街地：3,000円 朝日地区：20,000円 上士別・多寄・温根別地区：10,000円

### ③兄弟割引（乗降場所が完全一致する場合に限る サブスクリプション対象外）

第2子目：半額 第3子目以降：無料

### ④士別市スポーツ協会の支援により、スポーツに関する習い事の送迎1回にあたり100円の料金の軽減を行う。（サブスクリプション対象外）

## 6. 人数制限

乗り合わせ人数の制限をしないが、事業費に限りがあるため、2名以上での利用をお願いする形とする。

## 7. 利用対象者

①小中学生の習い事をする際の「送り」を対象とする。

②17時以降にスタートする習い事は自宅からの送りを可能とするが、それ以前にスタートする習い事は、学校か児童館のみからの送りとする。

③16時から17時に習い事が終了する場合は、「帰り」についても対象とする。

ただし、「送り」を優先することから、ご希望に添えない場合もご理解いただく形とする。



地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

## 1. 共創モデル実証運行事業

＜ 特設ウェブサイトでは、第1弾(令和4年度事業)の取組み事例を紹介しています ＞

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)※によりその維持・活性化に取り組む実証事業

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」

### 【補助対象事業者】

交通事業者等を含む複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等  
(「共創プラットフォーム」)

### 【補助対象経費】

- ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等
- ・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
- ・実証運行に要する経費

### 【補助率・上限額】

補助対象経費の2/3 (上限1億円)

※実証運行など、交通サービスの運行を伴う事業であることが必要です。

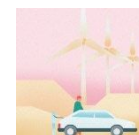
### プロジェクトイメージ (他分野共創の例)



医療×交通



介護×交通



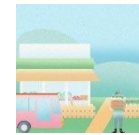
エネルギー×交通



住宅×交通



教育×交通



農業×交通

事業に関与

立ち上げ支援

自治体・金融機関

共創モデル実証プロジェクト

## 2. 人材育成事業

共創の取組の促進・普及に向け、地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業

【補助対象事業者】 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う、交通関係団体、まちづくり団体等の民間事業者、NPO法人等

【補助対象経費】 地域交通分野におけるプロデュース・コーディネート人材育成に関する取組実施経費

【補助率・上限額】 定額 (上限3千万円)

公募期間 令和5年4月21日～6月20日16:00

問合せ先 事務局 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)  
各地方運輸局交通政策部交通企画課 等

応募方法の詳細・問合せ先は特設ウェブサイトへ！

採択審査のポイント等は「公募要領」をご確認ください。

【URL】 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

地域交通 共創

検索